

# 「北前船交流拡大機構」が発足

## 強まる 寄港地の絆



北前船寄港地の日本遺産認定当日に開かれた祝賀会。

酒田で提唱された寄港地間交流は全国に広がった

＝4月28日、酒田市・ガーデンパレスみずほ

酒田市など全国の北前船寄港地の自治体・経済界の関係者が参加する北前船寄港地フォーラムを母体に、「北前船交流拡大機構」が発足した。協力企業には航空、鉄道会社が名を連ね、事務局はANA総合研究所に置く。酒田から始まった寄港地間交流が発展し、さらなる広がりが見込まれる。

### 酒田提唱のフォーラム母体

### 30日設立発表

フォーラムは任意団体として活動し、各寄港地での交流・研修会開催などを支援してきた。酒田市が7道

県11市町で申請した北前船寄港地が今春、日本遺産に認定されることなどから、一般社団法人の機構を設立し、寄港地間交流の活性化などを推進する考え。今月9日に法人格の登記を行い、30日に都内で設立発表会を開く。

北前船は、明治時代まで北海道、東北、北陸、関西を結ぶ重要な物流ネットワークを築いていた。寄港地間交流を復活させ、再び日本海側を活性化しようとして、2006年に酒田市で開催された北前船コリドール会議を皮切りに、07年からフォーラムとして全国の寄港地で交流、研修を重ねてきた。フォーラムは新田嘉一平田牧場会長が名誉会長を務め、北前船寄港地が、日本遺産の認定を受ける原動力にもなった。

機構は、フォーラムにも関係者が参加していたJR東日本、JR西日本、日本航空、ANA総研、平田牧場に加え、JR北海道、日本政策投資銀行、成田国際空港と羽田空港の管理業務などを行う企業が協力企業となった。来年5月に海外で初めて中国・大連で開催する会合をはじめ、各地で開催する交流、研修会を支援する。

会長は元国土交通事務次官の岩村敬環境優良車普及機構会長。フォーラム議長の石川好(よしみ)酒田市美術館長が評議員議長に就いた。